



サービスの管理

この章は、次の項で構成されています。

- [機能サービスのアクティブ化と非アクティブ化 \(P.2-1\)](#)
- [Control Center におけるサービスの開始、停止、再起動、および更新状況 \(P.2-5\)](#)
- [コマンドライン インターフェイスを使用したサービスの開始と停止 \(P.2-7\)](#)

機能サービスのアクティブ化と非アクティブ化

Cisco CallManager Serviceability では、Service Activation ウィンドウでサービスをアクティブまたは非アクティブにします。Service Activation ウィンドウに表示されているサービスは、アクティブにするまで起動できません。

Cisco CallManager では、機能サービスのみをアクティブおよび非アクティブにできます。必要な数のサービスを同時にアクティブまたは非アクティブにすることができます。一部の機能サービスは他のサービスに依存していますが、その場合は、対象の機能サービスがアクティブになる前に従属サービスがアクティブになります。



ヒント

Service Activation ウィンドウでサービスをアクティブにする前に、[表 2-1](#)を確認してください。

Cisco CallManager Serviceability で Cisco CallManager サービスをアクティブまたは非アクティブにするには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 **Tools > Service Activation** の順に選択します。

Service Activation ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 Server ドロップダウン リストボックスで、サーバを選択します。

選択したサーバのサービス名およびサービスのアクティベーション状況がウィンドウに表示されます。

ステップ3 次のいずれかの操作を実行します。

- 単一サーバの設定でサービスをアクティブにする場合は、**Set Default** ボタンをクリックするか、使用するサービスをアクティブにします。
Set Default ボタンをクリックすると、単一サーバ上での実行に必要なサービスをすべて選択できます。この操作を行うと、必要なサービスがすべて選択されるだけでなく、サービスの依存関係もチェックされます。
- 複数サーバの設定の場合は、表 2-1 でサービス アクティベーションに関する推奨事項を確認した後、アクティブにするサービスの横のチェックボックスをオンにします。

表 2-1 サービス アクティベーションに関する推奨事項



サービス /servlet	アクティベーションに関する推奨事項
CM サービス	
Cisco CallManager	Control Center—Network Services で、Cisco RIS Data Collector サービスと Database Layer Monitor サービスがサーバ上で動作していることを確認します。  ヒント このサービスをアクティブにする前に、Cisco CallManager Administration の Cisco CallManager Find/List ウィンドウに Cisco CallManager が表示されていることを確認します。サーバが表示されていない場合は、このサービスをアクティブにする前に、Cisco CallManager を追加します。Cisco CallManager の追加方法の詳細については、『Cisco CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。
Cisco TFTP	クラスタ内に複数のサーバが存在する場合、Cisco TFTP サービス専用の 1 つのサーバ上でこのサービスをアクティブにします。クラスタ内の複数のサーバ上でこのサービスをアクティブにする場合は、Option 150 を設定します。
Cisco Messaging Interface	クラスタ内の 1 つのサーバ上でのみアクティブにします。Cisco Unity ボイス メッセージ システムを使用する予定がある場合は、このサービスをアクティブにしないでください。
Cisco IP Voice Media Streaming Application	クラスタに複数のサーバが存在する場合は、クラスタごとに 1 つまたは 2 つのサーバをアクティブにします。Music On Hold 専用のサーバ上でアクティブにすることもできます。このサービスを使用するには、クラスタ内の 1 つのサーバ上で Cisco TFTP をアクティブにする必要があります。Cisco CallManager サービスを実行するファースト ノード サーバやその他のサーバ上では、このサービスをアクティブにしないでください。
Cisco CTIManager	JTAPI/TAPI アプリケーションが接続する各サーバでアクティブにします。CTIManager をアクティブにするには、Cisco CallManager サービスもサーバ上でアクティブにする必要があります。CTIManager と Cisco CallManager サービスのインタラクションの詳細については、「Cisco CallManager」サービスを参照してください。
Cisco CallManager Attendant Console Server	クラスタ内で Cisco CallManager サービスを実行するすべてのサーバ上でアクティブにします。
Cisco Extension Mobility	Cisco CallManager Extension Mobility アプリケーションがアクセスする各サーバ上でアクティブにします。


表 2-1 サービス アクティベーションに関する推奨事項 (続き)

サービス /servlet	アクティベーションに関する推奨事項
Cisco CallManager Cisco IP Phone Services	クラスタ内の任意の 1 つのサーバでのみアクティブにします。
Cisco Dialed Number Analyzer	このサービスは大量のリソースを消費する可能性があるため、コール処理アクティビティが最も少ないノードでアクティブにするか、オフピーク時にアクティブにします。
Cisco Extension Mobility アプリケーション	このアプリケーションは、Cisco CallManger Extension Mobility がアクティブにされると自動的にアクティブになります。
Cisco DHCP Monitor サービス	DHCP Monitor サービスを有効にすると、IP Phone の IP アドレスに影響を与えるデータベース内の変更が検出され、/etc/dhcpd.conf ファイルが変更され、更新された設定ファイルを使用して DHCPD デーモンが停止および再起動されます。このサービスは、DHCP が有効なサーバ上でアクティブにします。
CTI サービス	
Cisco IP Manager Assistant	Cisco IPMA を使用する場合は、クラスタの 2 つのサーバ (プライマリとバックアップ) 上でこのサービスをアクティブにします。クラスタ内で Cisco CTI Manager サービスがアクティブにされていることを確認します。その他の推奨事項については、『Cisco CallManager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。
Cisco WebDialer Web サービス	クラスタごとに 1 つのサーバ上でアクティブにします。
CDR サービス	
Cisco Soap-CDRonDemand サービス	Cisco Soap-CDRonDemand サービスは、ファースト ノードでのみアクティブにできます。そのためには、Cisco CDR Repository Manager サービスと Cisco CDR Agent サービスが同じサーバ上で動作している必要があります。
Cisco CAR Scheduler	Cisco CAR Scheduler サービスは、ファースト ノードでのみアクティブにできます。そのためには、Cisco CDR Repository サービスと Cisco CDR Agent サービスが同じサーバ上で動作している必要があります。
Cisco CAR Web サービス	Cisco CAR Web サービスは、ファースト ノードでのみアクティブにできます。そのためには、Cisco CAR Scheduler サービスがアクティブにされてサーバ上で動作し、Cisco CDR Repository Manager が同じサーバ上で動作している必要があります。
データベースと Admin サービス	
Cisco AXL Web サービス	ファースト ノードでのみアクティブにします。このサービスのアクティブ化に問題があると、AXL を使用する AVVID クライアントベースのアプリケーションから Cisco CallManager を更新できません。
Cisco Bulk Provisioning サービス	Cisco Bulk Provisioning サービスは、ファースト ノードでのみアクティブにできます。Bulk Administration Tool (BAT) を使用して電話機とユーザを管理する場合は、このサービスをアクティブにする必要があります。

表 2-1 サービス アクティベーションに関する推奨事項 (続き)

サービス /servlet	アクティベーションに関する推奨事項
パフォーマンスとモニタリング サービス	
Cisco Serviceability Reporter	ファースト ノード上のみアクティブにします。  (注) 他のノード上でサービスをアクティブにしても、ファーストノード上でレポートが生成されるだけです。
Cisco CCM SNMP サービス	SNMP を使用する場合は、このサービスをクラスタ内のすべてのサーバ上でアクティブにします。
セキュリティ サービス	
Cisco CTL Provider	クラスタ内のすべてのサーバ上でアクティブにします。
Cisco Certificate Authority Proxy Function (CAPF)	ファースト ノードでのみアクティブにします。
ディレクトリ サービス	
Cisco DirSync	ファースト ノードでのみアクティブにします。
バックアップと復元サービス	
Cisco DRF Master	クラスタ内の任意の 1 つのサーバでのみアクティブにします。

ステップ 4 必要な変更を加えたら、**Update** をクリックします。

 **ヒント** アクティブにしたサービスを非アクティブにするには、非アクティブにするサービスの横にあるチェックボックスをオフにし、**Update** をクリックします。

追加情報

P.2-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

Control Center におけるサービスの開始、停止、再起動、および更新状況

Cisco CallManager Serviceability の Control Center では、クラスタ内の特定のサーバについて、状況の表示、状況の更新、および Cisco CallManager サービスの開始、停止、再起動を行うことができます。Cisco CallManager サービスを開始、停止、または再起動すると、その Cisco CallManager サービスに登録されている Cisco IP Phone とゲートウェイはすべて、セカンダリ Cisco CallManager サービスにフェールオーバーされます。別の Cisco CallManager サービスに登録できない場合にだけ、デバイスと電話機を再起動する必要があります。Cisco CallManager サービスを開始、停止、または再起動すると、その Cisco CallManager をホームとする他のインストール済みアプリケーション (Conference Bridge や Cisco Messaging Interface など) も同様に開始および停止します。

**(注)**

Cisco CallManager をアップグレードする場合、システム上ですでに開始されていたサービスは、アップグレード後に開始されます。

**注意**

Cisco CallManager サービスを停止すると、そのサービスが制御しているすべてのデバイスに対するコール処理も停止します。Cisco CallManager サービスを停止した場合、IP Phone から別の IP Phone へのコールは維持され、IP Phone から Media Gateway Control Protocol (MGCP) ゲートウェイに対して進行中のコールも維持されます。その他のタイプのコールはドロップされます。

クラスタ内の特定のサーバ上のサービスの状況を開始、停止、再起動または表示するには、次の手順を実行します。一度に開始、停止、またはリフレッシュできるサービスは、1 つだけです。

手順

ステップ 1 開始、停止、再起動、リフレッシュするサービス タイプによって、次のいずれかのタスクを実行します。

- **Tools > Control Center—Feature Services** の順に選択します。

**ヒント**

開始、停止、再起動できるのは、アクティブにされている機能サービスのみです。サービスをアクティブにするには、[P.2-1](#) の「機能サービスのアクティブ化と非アクティブ化」を参照してください。

- **Tools > Control Center—Network Services** の順に選択します。

ステップ 2 Server ドロップダウン リストボックスで、サーバを選択します。

選択したサーバのサービス名、サービス タイプ、およびサービスの状況がウィンドウに表示されます。ウィンドウには、サービスの状況 (Started、Running、または Stopped) も表示されます。

ステップ 3 次のいずれかの操作を実行します。

- 開始するサービスの横にあるオプション ボタンをクリックし、**Start** ボタンをクリックします。更新された状況を反映して、**Status** が変更されます。
 - 再起動するサービスの横にあるオプション ボタンをクリックし、**Restart** ボタンをクリックします。再起動に少し時間がかかることを示すメッセージが表示されます。**OK** をクリックします。
 - 停止するサービスの横にあるオプション ボタンをクリックし、**Stop** ボタンをクリックします。更新された状況を反映して、**Status** が変更されます。
 - サービスの最新状況を表示するには、**Refresh** ボタンをクリックします。
 - Service Activation ウィンドウやその他の Control Center ウィンドウに移動するには、Related Links ドロップダウン リスト ボックスでオプションを選択し、**Go** をクリックします。
-

追加情報

P.2-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

コマンドライン インターフェイスを使用したサービスの開始と停止

次のサービスは、コマンドライン インターフェイス (CLI) でコマンドを実行することで、開始および停止できます。

- Cisco Tomcat
- Cisco DB
- Cisco CallManager Serviceability

サービスを開始するには、**utils service start < サービス名 >** と入力します。ここで、「サービス名」はサービスの完全な名前を表します。

サービスを停止するには、**utils service stop < サービス名 >** と入力します。ここで、「サービス名」はサービスの完全な名前を表します。



ヒント

他のすべてのサービスは、Cisco CallManager Serviceability の Control Center から起動および停止する必要があります。

追加情報

P.2-7 の「[関連項目](#)」を参照してください。

関連項目

- [Control Center](#) におけるサービスの開始、停止、再起動、および更新状況 (P.2-5)
- [機能サービスのアクティブ化と非アクティブ化](#) (P.2-1)
- 『Cisco CallManager Serviceability システム ガイド』の「サービスの管理」

